



令和7年度 第2回 北浜小学校 学校運営協議会



浜松市立北浜小学校

〒434-0036 浜松市浜名区横須賀800番地

電話 586-2990 FAX 586-3035

E-mail: kitahama-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

HP: <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/kitahama-e/>



北浜小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

令和7年7月4日（金）

【日程】 にじいろ日課

- | | |
|---------------------|-------------|
| ○ 給食配膳参観(各教室) | 11:50~12:05 |
| ○ 給食試食会(北校舎1階小会議室) | 12:05~12:50 |
| ○ 授業参観(各教室) | 13:05~13:50 |
| ○ 学校運営協議会(北校舎3階会議室) | 14:00~15:30 |



【学校運営協議会】

<司会:教頭、記録:古橋>

開会

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 第1回学校運営協議会の概要（古橋）
- 4 議長選出

5 熟議

<議長: >

- (1) 1学期の教育活動について（平野）
- (2) 教職員（学年主任）と学校運営協議会委員との懇談
- (3) 今後のPTA活動の方向性について（田原）

6 報告

- ・ 1学期の活動報告（学校支援コーディネーター）

7 連絡事項

- ・ 校内夏季研修について（平野）
7月28日（月） 10:00~12:00
※ 教職員が地域の人・もの・ことを知るためのフィールドワーク
学校運営協議会委員の参加は自由
- ・ 次回の予定

第3回	11月28日（金）	授業参観	13:05~13:50
		学校運営協議会	14:00~15:30

閉会

【参加者】

北浜小学校 学校運営協議会委員		
	氏 名	役職等
1	熊谷 三郎	北浜小学校運営協議会 会長
2	鈴木 澄子	副会長、学校支援コーディネーター
3	白井 一光	学校支援コーディネーター
4	齋藤 千朝	主任児童委員
5	田原 さやか	P T A会長
6	鈴木 崇之【欠席】	元P T A会長

オブザーバー		
1	松野 聖	北浜南部協働センター

学校職員		
1	伊藤 公美子	校長
2	定盛 俊孝	教頭
3	常名 剛司	教務主任
4	平野 暁子	C S 担当
5	古橋 佳代	C S ディレクター
6	守屋 香里	北斗学年主任
7	梅林 智実	1 年学年主任
8	大谷 秀	2 年学年主任
9	金原 進	3 年学年主任
10	藤原 淳史	4 年学年主任
11	松本 景佑	5 年学年主任代理
12	嶋川 吾一	6 年学年主任



令和7年度 学校運営協議会 年間計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和7年 4月28日 月曜日 11:00～12:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について (4)学校応援団の年間活動計画	1年生を迎える会 10:10～10:55 学校運営協議会 11:00～12:00
2	令和7年 7月4日 金曜日 14:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)1学期の教育活動の振り返り (2)教職員と学校運営協議会委員との懇談 (3)今後のPTA活動の方向性について	給食配膳参観 11:50～12:05 給食試食会 12:05～12:50 授業参観 13:05～13:50 学校運営協議会 14:00～15:30
3	令和7年 11月28日 金曜日 14:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)学校の抱える課題と改善策 (2)全国学力調査の報告 (3)学校評価アンケートについて	授業参観 13:05～13:50 学校運営協議会 14:00～15:30 ※学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校へ提出
4	令和8年 2月18日 水曜日 14:30～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校関係者評価 ・学校評価の自己評価について ・いじめ防止等のための基本的な方針について (2)令和7年度学校運営の基本方針について (3)令和8年度の教育活動について (4)学校運営協議会の自己評価	授業参観 13:35～14:20 学校運営協議会 14:30～16:00

※ 委員の過半数の出席で開催します。【浜松市学校運営協議会規則14条2項】



令和7年度 第1回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月28日（月）11時00分から12時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 会議室
- 3 出席委員 熊谷 三郎、鈴木 澄子、白井 一光、齋藤 千朝、田原 さやか
- 4 欠席委員 鈴木 崇之
- 5 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 伊藤 公美子（校長）、定盛 俊孝（教頭）、常名 剛司（教務主任）
平野 暁子（CS 担当）、古橋 佳代（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代
- 9 議長の選出
司会者の教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は熊谷委員が務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - (1) 令和7年度学校運営の基本方針の概要説明
 - (2) 年間行事計画について
 - (3) 学校いじめ防止基本方針に関すること
 - (4) 学校の運営に必要な支援に関すること
 - (5) 学校運営協議会の自己目標の決定
 - (6) 「夢育やらまいか」意見書について
- 11 会議記録
司会者より委員総数6人のうち5人出席（1名欠席）があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - (1) 新年度の学校運営の基本方針の概要説明について
議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、全員異議なくこれを承認した。
 - (2) 年間行事計画について
議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、年間行事計画について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 12月7日（日）第2回資源物回収となっているが、地域の防災訓練日と重なっているため日程を変更する予定である。（教頭）

（3）学校いじめ防止基本方針に関すること

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき「学校いじめ防止基本方針に関すること」について説明があり、以下の発言があった。

- ・ アンケート調査について実施することは必然であるが、いじめの実態把握を次年度にしっかりと引き継ぐことも重要である。（校長）
- ・ 急にいじめが起きた時は、早期に対応していただきたい。（齋藤委員）

（4）学校の運営に必要な支援に関することについて

議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき「学校の運営に必要な支援に関すること」について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 花壇運営については、現在中心となっている職員からノウハウを受け継ぎ、将来を見据えた運営づくりにしていきたい。（教頭）
- ・ 学校応援団に多くの保護者に参加していただきたい。（鈴木澄子委員）

（5）学校運営協議会の自己目標の決定について

別紙資料に基づき会長から「学校運営協議会の自己目標について」説明があり、以下の発言があった。

- ・ それぞれ自己目標を確認し、引き続き遠慮ない意見を言って、みんなで建設的な場にしていただきたい。（熊谷委員）

（6）「夢育やらまいか」意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき「夢育やらまいか」意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は令和7年7月4日（金）14時00分から会議室で開催する旨の報告があった。

令和7年度 浜松市立北浜小学校 グランドデザイン

【学習指導要領】

知・徳・体のバランスのとれた
「生きる力」の育成
・知識及び技能の習得
・思考力、判断力、表現力等の育成
・学びに向かう力、人間性等の涵養

【第4次浜松市教育総合計画】

描く夢や未来の実現
○主体性 ○多様性・包摂性
○信頼・協働
・自分らしさ ・他者との協働
・自己調整

【北浜中学区目指す子供の姿】

心豊かにたくましく輝ける子供たち
・北浜中学区いじめ撲滅3箇条

【学校教育目標】

ひとりと みんなで 輝く子

【経営方針】 こどもと おとなが つながる学校



コミュニティ・スクール

き	キラキラ輝き	～希望がもてる学校～	子供の夢・目標を支える
た	楽しく学び	～探究する学校～	子供の可能性を引き出す
は	励まし育つ	～話す聞く学校～	子供の声に傾聴する
ま	また明日	～守り続ける学校～	子供の命と幸せを守る

○スタートカリキュラム ○登校・学習支援 ○教育相談 ○関係機関との連携

【目指す子供の姿】

知

自分の考えを伝え合い、
学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学びのスケール
 - ・ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・北浜の人、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・家庭学習の手引き
 - ・情報モラル

徳

自分たちの手で安心
して過ごせる学校・
学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・にじいろプロジェクト
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 夢に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・心の時間
 - ・たてわり活動

体

元気に楽しく体を
つくり、自他の命を
大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

○子供が主語になる授業づくり

- ・ 学びのスケール
- ・ ICT の有効活用

現在、大切にされている教育観は、「教師が何を教えたか」ではなく、「子供が何をできるようになったか」なのです。まさに子供主体の学びが求められています。昨年度のリーディング DX 指定校研究を経て、今年度はさらにバージョンアップ。授業の中でタブレット型端末やクラウドを積極的に活用して、一人ひとりの得意な学びのスタイルや思いに寄り添った授業を展開しています。『子供が主語』の授業とはどのような授業なのか」ある日の教員研修のテーマです。ただハウツーなどの、手法を取り入れれば子供が育つのでしょうか。教師は常に教育の本質とはなにかを考え、目の前の子供に合わせて臨機応変に手立てを変えていかなければなりません。「今、目の前の子供にとって本当に適切な教育活動はなにか」を常に自問し、学び続ける教員集団であるように研修主任や研究推進委員会を中心に、日々授業改善に取り組んでいます。



○探究学習を意識した総合的な学習の時間

- ・ 北浜のひと、もの、こと

北浜小は、昨年度の指定研究の成果で、浜松市の中では教育 DX が進んでいる学校と言ってもよいかもしれません。しかし、デジタルの仮想空間での学びで閉じていては、実際の現代社会の諸問題は解決できません。低学年の生活科の学習や中・高学年の総合的な学習の時間では、子供がデジタルを効果的に活用するだけでなく、アナログである人や環境とのリアルな接点を大切にして、積極的に地域と関わり、地域に働きかけています。今年度の6年生は、地域とつながり、北浜の街を元気にしようと交差点の花壇を整備したり、草取りボランティアに来て下さる学校応援団の方に中庭に休憩用の椅子を設置しようという思いをもって活動を始めています。1年生では、生活科の学習で、昨年度、好評であった地域の方との昔の遊びの交流会を開こうと計画しています。

○学びの連続性

- ・ 家庭学習の手引き
- ・ 情報モラル

今年度は、全児童がタブレット型端末を、毎日、自宅に持ち帰るようになりました。学校だけでなく、家庭においても子供が計画的、主体的に自分の学びを進めやすくするためです。これまでの家庭学習は「宿題」という名称で、教師から一方的に与えられる課題でした。これからは家庭学習として自分の興味関心、得手不得手に合わせて、自分の学びに責任をもちながら自ら家庭での学習に取り組むことが求められています。今は、自分は何のために学ぶのかという教育の本質について、子供自身にも考えさせ、自分の学びに責任をもつ態度、及び学習習慣の育成を図っています。

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

○児童会活動の充実

- ・ にじいろプロジェクト
- ・ キャリア4つの力

「1年生を迎える会」「運動会」などでは、学校の子供たちをリードする企画委員会が大活躍。企画委員会が考えたストーリーはただ悪者を倒すだけでなく、最後はいつも悪者が仲間になる温かいお話。面白いストーリーと高学年の子供たちの演技力に下級生がいつも感情移入しています。子供が企画して、運営し、下級生とともに学校をつくるという姿を垣間見ることができます。



学校の代表の子供が議論する「代表委員会」。学校は教師だけのものでも、子供だけのものでもありません。子供たちの率直で素直な思いを引き出しながら、子供主体で教師と共に進むべき方向を見つけていきます。各学級で代表に選ばれた子供たちのリーダーシップを育む場にもなっています。

○生命と人権の尊重

- ・ 命について考える日 スローガン「世界一 輝く笑顔 あふれる学校」

今年度の本校の命について考える日は、児童集会として子供が中心となって企画、運営されました。企画委員会による「いじめ」を題材とした劇で、子供に友達と大切にすることの大切さに気付かせました。そして、全校のみんなで「もうじゅう狩りに行こう」という仲間集めゲームをしたことで、いつもの友達だけでなく、異学年の人とも、誰とでも仲良くする心を実行するとよい気持ちになることを感じられたでしょう。



○交流の機会を設定

- ・ 心の時間
- ・ たてわり活動

学期当初の1年生の教室には、6年生が毎日、お手伝いにきていました。新しい仲間を温かく迎え入れることで、1年生の子供たちは安心して学校生活を送ることができるようになっています。それから2か月経っても、1年生と6年生が休み時間に手をつないで図書室に訪れる子たちもいます。週に2回の清掃活動は、異学年による小グループで活動しています。どの掃除場所でも6年生のリーダーを中心にして、上級生が下級生に掃除の仕方を優しく教える姿が見られます。このような日々の異学年による交流活動が全校の子供たちの心理的安全性を育んでいるのではないのでしょうか。

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

○運動能力アップの取組

・運動環境の充実

これまで、体育館使用は教師の安全管理下を基本としていましたが、子供たちによる自主的・自治的な学校を目指している方針から、子供たち自身で昼休みの体育館使用を管理しながら、より運動に親しむ機会を確保する取り組みを始めました。導入当初は、体育館の適切な使用ができずに、子供同士のトラブルなどが散見されましたが、運動委員会の子供のリーダーシップの下、子供たち同士で問題を解決したり、予防したりする姿が見られるようになりました。子供たちが安心して、体を動かして楽しめる場を整えた効果は、運動面だけでなく、情意面にもよい影響を与えることを期待しています。

○健康意識の向上

・食育、保健指導の充実

自分たちの体をつくり、健康を保つためには、食育指導は欠かせません。例年、学級ごとに全学年で北浜中の栄養教諭から食に関する授業を行っています。また、今年度は、給食センターのリクエスト給食の献立を北浜小の6年生が考える番です。日頃、給食センターの栄養教職員がどのような配慮をしながら献立を考えているかを知り、あらためて給食を食べられることの喜びや、作っていただいている方への感謝の気持ちをもつことができました。なお、北浜小6年生の子供たちのリクエスト給食は、「肉じゃが」「大根の味噌汁」「ウズラの卵入りカレー」などがあったようです。自分たちで栄養のバランスを考えて作ったリクエスト給食メニュー。1月のリクエスト給食の日が楽しみですね。



○安全意識の向上

・実践的な避難訓練、交通安全教室

本校の避難訓練は、より実践的な避難訓練を志向して、事前に子供たちに伝えないで行うものや、雨の日でも訓練を行うようにしています。地震や災害は、いつ、どこで起こってもおかしくはありません。子供たちが実社会で生きて働く力になるように防災担当を中心に、どのような形の避難訓練をすればよいのかを考えて実施しています。

浜北唯一のスクランブル交差点は、本校の目の前にあります。交通量が多く、危険もあります。日頃より、スクールガードリーダー、交通安全指導員、学校応援団の方々の協力の下、子供たちの安全の確保を意識しています。また、子供たち自身の内面から、交通安全への意識を高める取り組みとして、今年度も交通安全教室を行いました。学校応援団の方々など、地域の方々に見守られながら、学校に通えていることのありがたさを感じていると思います。

教職員（学年主任）と学校運営協議会委員との懇談

	令和7年度の学年経営案の説明	学校応援団に支援してほしい活動
北斗		
1年		
2年		
3年		
4年		
5年		
6年		

北浜小学校 令和7年度 北斗 学年経営案

学年主任 2組 守屋 香里
担任 組 1組 澤木 有紀 3組 大野 慎也 4組 天野 由佳子
5組 名倉 美恵 6組 石川 晃

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学びのスケール
 - ・ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・北浜のひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・家庭学習の手引き
 - ・情報モラル

【徳】

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・にじいろプロジェクト
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・心の時間
 - ・たてわり活動

【体】

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

方策

□個に応じた付けたい力を明確にし、細やかな支援や配慮を充実させ、授業を展開する。

□学びのスケールを使い、情報収集の方法や学習形態等、児童が選ぶ場を設定する。

□朝活動や道徳を通して、情報モラルを学ぶ時間を設定する。また、ICT機器の基本的な操作方法を身に付けられるよう時間を確保し、繰り返し指導する。

□家庭学習では、デジタル課題や一斉課題等個の実態に応じて選択して取り組めるよう準備する。

方策

□北斗全体での活動や交流教育を充実させることで学校生活の楽しさを味わうことができるようにする。

□教室の一角や学習室にクールダウンできる場を設け、落ち着いて学校生活が送れるようにする。

□北斗の仲間との繋がりを意識するために、北斗縦割りグループで活動する「くすのきタイム」を学期に2単元程度設定する。

□生命と人権の尊重ができるよう、日々の生活や道徳、自立活動を通して、「自分を大切にする」「他の人も大切にする」ために必要なスキルを考える場を設定し、SSTやSGE、コミック会話等を使って繰り返し指導する。

方策

□取り組んでみたいと思わせるように、用具や場の設定を工夫して、北斗体育を充実させる。

□体育館開放やくすのきタイムを活用して、運動イベントを計画する。

□食と健康について関心を高めるため、栄養教職員や企業食育講座の授業を学期に1回設定する。また、野菜の栽培も行う。

□生活の安全や交通安全、防災に関する安全上の課題を一人一人の特性や実情に応じながら繰り返し指導する。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 自分の考えをもち、伝え合う子
- 自分に合った学びの選択ができ、主体的に学ぶ子

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 縦割りグループ活動に仲良く参加する子
- 自他を大切にする子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動イベントや外遊びに積極的に参加し、運動を楽しむ子
- 自他の安全に配慮する子

1年間の成果

1年間の成果

1年間の成果

2学期成果と3学期への課題

2学期成果と3学期への課題

2学期成果と3学期への課題

1学期成果と2学期への課題

1学期成果と2学期への課題

1学期成果と2学期への課題

○

▲

北浜小学校 令和7年度 第1学年 学年経営案

学年主任 2組 梅林 智実
担任 組 1組 梅林 智実

2組 小柿平 趙流

3組 大城 舞桜

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学びのスケール
 - ・ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・北浜のひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・家庭学習の手引き
 - ・情報モラル

【徳】

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・にじいろプロジェクト
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・心の時間
 - ・たてわり活動

【体】

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・実践的な避難訓練、交通安全教室

方策

□主体的に活動できるように、まず学習習慣やルールを身に付けさせ、できていることを称揚していく。少しずつ学びへの繋がりを意識させ、学びのスケールを活用しながら、選択する場面を作っていく。

□学校の学びと家庭の学びを繋げ、学習習慣の土台をつくる。

□情報モラルを朝活動や道徳を通して学ぶ時間を確保する。ICT機器の基本的な操作方法を身に付けさせる。

方策

□学年の仲間との繋がりを意識するために学年集会を毎月計画し、学年全体で活動する機会を増やす。

□縦割り活動で6年生との繋がりを深め、生活科や校外学習の時間で2年生との活動を増やし、社会性を養う。

□友達の良さ・自分の頑張ったことをふり返りの会で発表する「かがやきみつけ」を行う。

□心の時間でSSTを行い、学級の仲間との関係づくりを行う。

方策

□週に1度の学級遊びや、月に1度の学年集会で体を動かす楽しさを味わう機会をつくる。

□給食に親しみをもち、食の大切さを知るために、栄養教諭の食指導を設定する。また、生活科で野菜の栽培を行い、食への関心を高める。

□スタートカリキュラムを通して、基本的な生活習慣や、学校内・外の安全な過ごし方を学ぶ時間を設定し、道徳などで繰り返し確認する。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 学習習慣やルールが身に付いた子
- 伝え合ったり、話し合ったりすることを
楽しみ、主体的に学ぶ子
- ICT機器の操作基礎や情報モラルを学び、
適切に活用することができる子

②自分たちの手で安心して過ごせる学 校・学級をつくる子

- 学級・学年が安心して過ごし、縦割り
活動を通して、異学年とのかかわりをもつ子
- 学校について知り、行事や委員会のイ
ベントに進んで参加する子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大 切にする子

- 様々な「運動あそび」を通して体を動か
す楽しさを感じる子
- 学校内外での健康的な生活習慣の基礎を
学び、進んで実践しようとする子

1年間の成果	1年間の成果	1年間の成果
2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題
1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題
○ ▲		

北浜小学校 令和7年度 第2学年 学年経営案

学年主任 2組 大谷 秀
担任 組 1組 大橋 詩織 2組 大谷 秀 3組 石崎 瑞樹

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】	【徳】	【体】
①自分の考えを伝え合い、学び続ける子 □子供が主語になる授業づくり ・学びのスケール ・ICTの有効活用 □探究学習を意識した総合的な学習の時間 ・北浜のひと、もの、こと □学びの連続性 ・家庭学習の手引き ・情報モラル	②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子 □児童会活動の充実 ・にじいるプロジェクト ・キャリア4つの力 かかわる力 自分を高める力 挑戦する力 未来に向かう力 □生命と人権の尊重 ・命について考える日 □交流の機会を設定 ・心の時間 ・たてわり活動	③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子 □運動能力アップの取組 ・運動環境の充実 □健康意識の向上 ・食育、保健指導の充実 □安全意識の向上 ・実践的な避難訓練、交通安全教室

方策

- 児童が学びを選択する場を設定する。
- あたたかな聞き方や話し方を身に付けさせ、ペアやグループでの活動をくり返し経験させる。
- 生活科の学習を中心に、校外学習や地域の人との関わる機会などを計画する。
- 家庭と連携し、計算カードや九九カードを継続して取り組ませ、学習内容を定着させる。

方策

- 行事や活動、日々の生活などのめあてを立て、振り返りをする。
- ふりかえりの会で「良いこと見つけ」を行い、友達の良さに気付かせると共に、自己肯定感を高める。
- 道徳や学級活動、心の時間などを通して、友達と関わる機会を設定する。

方策

- 学級遊びや学年集会などを定期的に設定し、体を動かす機会を作る。
- 栄養教員と連携し食育の授業を行い、食に関する知識を習得させたり、自分の食生活をよりよくしようとする意識を高めさせたりする。
- 避難訓練や交通安全教室などの活動の後に振り返りの時間を設定し、学んだことを今後の生活につなげさせる。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 人の話を最後まで聞くことができる子
- 相手のことを考えた話し方ができる子

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 毎日楽しく学校に来ることができる子
- 友達と仲良く関わるができる子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- けがをしないで生活することができる子
- 避難訓練や交通教室などに真剣に取り組むことができる子

1年間の成果	1年間の成果	1年間の成果
2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題
1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題
○ ▲		

北浜小学校 令和7年度 第3学年 学年経営案

学年主任 1組 金原 進
担任 組 1組 金原 進 2組 網代 桃佳 3組 吉川 隆太

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学びのスケール
 - ・ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・北浜のひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・家庭学習の手引き
 - ・情報モラル

【徳】

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・にじいろプロジェクト
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・心の時間
 - ・たてわり活動

【体】

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

方策

- スプレッドシートやオクリンクの操作を通じて、情報共有の仕方に慣れさせる。
- 総合的な学習の時間で、北浜小の歴史や地域のことに触れる。探究のサイクルを意識し、課題設定の仕方などの基礎を伝える。
- 自主勉強ノートをもとに今後の自主的な家庭学習の基礎を指導する。
- SNSノートや普段のタブレット使用の仕方から情報モラルを指導する。

方策

- にじいろ見つけで自己肯定感を高める活動を行う。
- 道徳の授業を通じて、子供主体で命の大切さについて考える。
- 心の時間で他者とのつながりや協働の重要性を学ばせる。
- 掃除の時間やたてわり遊びで、他学年との関わり方を学ばせる。

方策

- 学級遊びを通してクラスの団結を育む。また、外遊びを通じて運動能力の向上に努める。
- 健康に生活できるように、手洗いやうがい、換気など衛生面に気を付けさせる。
- 避難訓練や交通教室では事前指導で、実施の意味や取り組む態度を指導する。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 自分に合う学び方を選択し、他者との協働的な学習通して学びを深める子
- 授業や活動の中で自分の意見を伝え合ったり、話し合ったりする子

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 学級をよりよくするための課題を見付け、話し合い、実践する子
- 学校、学級の決まりを守って生活する子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 学年・学級遊びを通じて運動を楽しむ子
- 避難訓練や防災訓練に真剣に取り組むことができる子

1年間の成果	1年間の成果	1年間の成果
2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題
1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題
○ ▲		

北浜小学校 令和7年度 第4学年 学年経営案

学年主任 2組 藤原 淳史
担任 組 1組 上田 美志 2組 藤原 淳史 3組 小栗 武蔵

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学びのスケール
 - ・ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・北浜のひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・家庭学習の手引き
 - ・情報モラル

【徳】

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・にじいろプロジェクト
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・心の時間
 - ・たてわり活動

【体】

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

方策

□スケールを使い、主に情報収集の方法、ツール、学習形態(学び相手)、学習課題、学習過程の順に、児童が選ぶ場を設定する。

□総合的な学習の時間を、3回の探究サイクルで進める。2回目までで、学びの基盤となる情報活用能力やコミュニケーション能力などの汎用的な力を育む。

□デジタルドリルやワークブックなどの学習環境を準備すると同時に、家庭学習の価値と方法を児童と共有する。家庭の学びと学校の学びが連続するような単元構成を工夫する。

方策

□児童会活動(主に委員会活動)に積極的に参加するように声を掛ける。その際、活動はキャリア4つの力とどう関わるとするか予想する場をもつ。

□生命と人権の尊重ができるよう、総合的な学習の時間に、私やみんなの幸せとは何かを考える場を繰り返し設定する。講師を招聘し、幸せとは何か考える機会をもつ。

□6年生と協力し、たてわり遊びを実施する。

方策

□体育科の学習でICT機器を効果的に活用し、運動の知識・技能を高めていく。

□栄養教職員と連携し食育の授業を行い、食に関する知識を習得する場を設定する。保健等で体の仕組みを学ぶ授業を実践する。

□避難訓練と関連づけデジタル防災ノートを活用する機会をもつ。社会科と関連し、自助・共助・公助について考える場を設定する。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 自分に合う学び方を選択し、他者との協働的な学習を通して学びを深める子
- 授業や活動の中で自分の意見を伝え合ったり、話し合ったりする子
- 家庭の学びと学校での学びを繰り返す子

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 学級をよりよくするための課題を見付け、話し合い、実践する子
- 生きることの大切さや幸せについて考えることを通して、学校、学級の決まりの価値を考え、守ろうとする子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 昼休みの遊び運動を楽しんだり、運動委員会のイベントに積極的に参加したりする子
- 防災訓練や社会科の学びを通して、命の大切さや協力することの価値を考える子

1年間の成果	1年間の成果	1年間の成果
2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題
1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題

北浜小学校 令和7年度 第5学年 学年経営案

学年主任 3組 久保田 悠介
担任 組 1組 根元 美咲 2組 松本 景佑 3組 久保田 悠介

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・学びのスケール
 - ・ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・北浜のひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・家庭学習の手引き
 - ・情報モラル

【徳】

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・にじいろプロジェクト
 - ・キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・心の時間
 - ・たてわり活動

【体】

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・実践的な避難訓練、交通教室

方策

□学びのスケールを活用し、子供に委ねる度合いや場面を授業や単元の内容に合わせながら考え、実践する。

□北浜地区を中心に、浜松市内の魅力のある人、事柄に直接触れられる機会を設ける。また、教師が疑問を持たせるような仕掛けづくりや働きかけをし、単に調べて終える学習にならないようにする。学習の終末では、様々な人に自分の学びを語る機会を設ける。

□学校での学びを家庭学習につなげ、資質・能力を向上させるために、現在の学習の取組状況に応じて、よりよい家庭学習の進め方を授業や学年だよりで伝えることで、児童・家庭との共有を図る。

方策

□各委員会のイベントの計画・実施を行う際、また、それらのイベントへに参加をする際に、キャリアのどの力に関わるのかを確認する機会を設ける。また、委員会イベントの積極的参加を促す。

□総合的な学習の時間で扱う「SDGs」を題材に、人権の意味や尊重する大切さ等を考える時間を設定する。

□「サブリダー」であることを触れる機会を多くし6年生と連携したり、下級生に積極的に声を掛けるよう指導したりし、支えるよさや必要性を伝えていく。

□心の時間で、活動後にふりかえりをし、人と関わるよさを考え、実感させる。

方策

□学年イベントを開催したり、運動委員会主催のイベントへの参加を促し、運動の楽しさを味わわせることで、運動機会を増やし運動能力の向上につなげる。

□栄養教職員と連携し食育指導を進める。また、体育科の保健の学習及び検診の際の養護教諭による身体に関わる指導を通じて、知識を獲得する。

□防災ノートを活用した指導行ったり、朝やふりかえりの会で、学校や世の中の状況を踏まえ、安全に関して考える機会を短時間でも増やしていく。また、社会科の学習と関連付け、災害について知るだけでなく、災害に対する適切な行動を考える機会を設ける。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

○その時、自分に最も合う学び方を選択できるとともに、他者と協働的に学習し、新たな見方・考え方を獲得したり、学びを深めたりする子

○授業での学びを家庭学習に発展させる子

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

○積極的に委員会活動に参加する子

○自分の考えを伝えるだけでなく、他者を尊重する子

○より良い学校生活に向け力を尽くす子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

○学年イベントの企画・運営をしたり、運動委員会のイベントへ積極的に参加したりし、運動を楽しむ子

○自他の安全に配慮する子

1年間の成果	1年間の成果	1年間の成果
2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題
1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題
○ ▲		

北浜小学校 令和7年度 第6学年 学年経営案

学年主任 3組 嶋川 吾一
担任 組 1組 金子 卓矢

2組 澤 香織

3組 嶋川 吾一

学校教育目標 「ひとりと みんなで 輝く子」

経営方針 【こどもと おとなが つながる学校】

【知】

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 子供が主語になる授業づくり
 - ・ 学びのスケール
 - ・ ICTの有効活用
- 探究学習を意識した総合的な学習の時間
 - ・ 北浜のひと、もの、こと
- 学びの連続性
 - ・ 家庭学習の手引き
 - ・ 情報モラル

【徳】

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 児童会活動の充実
 - ・ にじいるプロジェクト
 - ・ キャリア4つの力
 - かかわる力 自分を高める力
 - 挑戦する力 未来に向かう力
- 生命と人権の尊重
 - ・ 命について考える日
- 交流の機会を設定
 - ・ 心の時間
 - ・ たてわり活動

【体】

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 運動能力アップの取組
 - ・ 運動環境の充実
- 健康意識の向上
 - ・ 食育、保健指導の充実
- 安全意識の向上
 - ・ 実践的な避難訓練、交通教室

方策

□クロムブックの活用を進めることで、学びのプロセスを可視化し、対話を促す。

□インプットだけでなく、アウトプットや振り返りを大切にする。

□学校の外に出てのフィールドワークや、ゲストティーチャーの招聘などで、本物の学びに触れる。

□学んだことを発信する場(新聞・プレゼン・動画作成)を設定する。

□「家庭学習の手引き」を活用して、家庭学習の大切さや習慣化について話すとともに、学習カードを活用し、自分の取り組みが実感できるようにする。

方策

□一人一人が「つくり手」として関わる実感をもたせるために、様々な場面で役割をもたせる。

□「安心」の定義を子供自身が考え、共通認識をもたせるために、話し合い活動を充実させる。

□友達と認め合い、励まし合う場面を設定したり、できた子をほめたりして、温かな雰囲気を取り組めるようにする。

方策

□体育科では、学習カードを活用し、活動内容や技のポイントなどを明確にすることで、主体的に学習に取り組めるようにする。

□クロムブックを活用し、ボールゲームの作戦を立てたり、自分の動画を撮影して技の振り返りをしたりすることで、視覚的に思考が深まっていくようにする。

□実際の事例や身近な話から、自分事として考えられるようにし、「健康に過ごすことの大切さ」や「訓練が命を守る力になる」ことを伝えていく。

学年の目指す具体の姿

①自分の考えを伝え合い、学び続ける子

- 自分の考えが伝わるように工夫して話せる・書ける子
- 友達との対話を通して、考えを広げたり深めたりする子
- 学びを振り返り、次につなげていこうとする子

②自分たちの手で安心して過ごせる学校・学級をつくる子

- 自分から「大丈夫？」と声を掛けられる子
- 決まりや約束を自分たちで見直し、守ろうとする子
- 自分と違う立場の人の気持ちを考えて行動できる子

③元気に楽しく体をつくり、自他の命を大切にする子

- 自分の体を大切にし、自分で健康を管理できる子
- 楽しく体を動かし、毎日を元気に過ごす子
- 友達や自分の命を守り、思いやりのある行動がとれる子

1年間の成果	1年間の成果	1年間の成果
2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題	2学期成果と3学期への課題
1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題	1学期成果と2学期への課題
○ ▲		

1. 令和 7 年度 PTA 研修テーマ

魅力を知ろう！好きになろう！～きたはま EXPO2025～

(テーマに込めた想い)

北浜小は歴史が深く、子供と大人、地域との繋がりをとても大切にしている学校ですが、まだまだ知られていない北浜小や地域の魅力がたくさんあると思っています。

今年は関西万博の年です。社会の課題解決のために国と企業が知恵や技術を持ち寄り、文化交流をしたり相互理解を深めたりする場であるように、北浜小を舞台として、こどもとおとなそれぞれの立場から見た北浜小の魅力を共有したり交流したりする場を作りたい、という想いを込めました。

北浜小や地域に既にある様々な資産やコミュニティを、子どもたちの笑顔に繋がられるよう、活動していきたいと思っています。

2. 具体的な活動内容(案)

(ア) PTA 役員の仕事内容を保護者に分かりやすく伝える

- ・ PTA の存在意義を明文化する
- ・ 活動内容を分かりやすく開示し、PTA の継続に繋げる

(イ) 学校応援団を保護者の方にもっと知ってもらい、登録数・参加数を増やす

- ・ 活動内容を分かりやすく発信する
- ・ 保護者はどのように関われるか？保護者にしかできないことはないか？
★本日、意見交換をさせて頂きたいです

(ウ) 北浜小の魅力を活かせる場、子どもと大人が繋がる場を創出する

(活動案の例)

- ・ 星空見学会(浜北少年化学クラブ)
- ・ なわとび検定(足立こうさく先生)
- ・ 保護者(有志)による職業紹介
- ・ 大型紙芝居の公演(あけぼの会)

※秋から冬にかけてPTA役員で実施を検討していきます。

3. 今後の予定

- ～8 月 PTA 役員による活動の具体案を検討
- 9 月 PTA 総委員会 (活動方針の合意)

子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指して

北浜小学校は、本年度でコミュニティ・スクール設置6年目となりました。これまで多くの方々に御協力いただき、子供たちの学校生活がより充実したものになってきています。

令和7年度の北浜小学校運営協議会自己目標は、

令和7年度の学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」の具現化を目指し、学校、保護者、地域、関係機関等と連携し、子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指す。

です。この1年間、この目標を具現化させるために、学校運営協議会で熟議を重ね、具体的な活動をしていきたいと思ひます。今後も、学校運営協議会並びに学校応援団活動への御理解・御協力をお願いします。

5年間という長い間にわたり、学校運営協議会委員と学校支援コーディネーターを務めていただきました 秋山 順一（あきやま じゅんいち）様が、3月末で御勇退されました。これまでの御尽力と御功績に感謝します。

そして今年度、新たに2名の方が学校運営協議会委員になりましたので紹介します。

本年度より、北浜小学校運営協議会委員・学校支援コーディネーターになりました。学校運営協議会委員とは、どんなものかと不安に思いながらのスタートでした。

第1回学校運営協議会に参加し、授業参観など小学校の校内を見させていたとき、徐々に不安はなくなってきました。そこで感じたことは、学校教育の多くの難題と、教職員が校内を明るくいい環境にしようと頑張っていることでした。

学校運営協議会委員という役目が回ってきて、学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」に共感し、できる限りの協力をして学校と地域が楽しくつながることができるように活動していきたいと思ひます。そして、多くの地域の皆さんと保護者が学校応援団として、楽しく気楽に学校運営に参加をして、子供たちの成長を地域全体で見守っていける環境づくりに努めたいと思ひます。みなさんの御協力をお願いします。

学校運営協議会委員 学校支援コーディネーター 白井 一光（しらい かずみつ）

学校運営協議会委員となりました、令和7年度北浜小PTA会長の田原です。娘が2年生で私自身の北浜小との関わりもまだ2年目となりますが、PTA活動を通じて先生方や保護者の皆様とお話させて頂く中で1年目には見えなかった北浜小の魅力を新たにたくさん知ることができ、とても嬉しく思っています。まず何よりも子供たちがとても素直で、友達や周りのために自分で考えて動けるところが本当に素晴らしいと感じます。5月の運動会では、みんなで力を出し合って力一杯盛り上げてくれたことはもちろんですが、片付けにも自主的に取り組む5、6年生は下級生のお手本となるのにふさわしい姿でした。また、先生方は子供たちといつでも対等に向き合ってください、伊藤校長のリーダーシップのもと「こどもと おとなが つながる学校」を体現してくださっていると思ひます。そして、私が何よりも驚いたのは、地域の方々が北浜小のために惜しみなく時間を使い、日々支援くださっていることです。先日、2年生が生活科の授業で町探検に出かけた際、付き添ってくださった地域の方から、地域の歴史をたくさん教えてもらったと、娘が家で話してくれました。こういった関わりがごく自然に行われ、大切にしていけるのも北浜小の魅力だと思います。私自身もPTA及び学校運営協議会の一員として、少しでも子供たちの笑顔や成長に繋がる活動ができればと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

学校運営協議会委員 田原 さやか（たわら さやか）

第1回学校運営協議会が開催されました

令和7年4月28日（月）、委員は「1年生を迎える会」を参観しました。その後、第1回の学校運営協議会を行いました。

始めに、校長が新年度の学校運営の基本方針の概要説明を行い、承認されました。さらに、「学校いじめ防止基本方針」に関することの説明をし、委員からは「未然防止のための取り組みはとても大切。」「急にいじめが起きた時は、早期に対応していただきたい。」「などの意見が出されました。その後、学校の運営に必要な支援に関することの熟議を行いました。本年度の取り組みの重点として「花壇運営」「児童の登下校の見守り」の2点があげられ、委員からは、「現在中心となっている職員から花壇運営のノウハウを受け継ぎ、将来を見据えた運営づくりをしていきたい。」「学校応援団に多くの保護者に参加していただきたい。」「児童の登下校の見守りは、自治体の協力が必要。」「などの意見が出されました。そして、令和7年度の教育活動の方向性を委員全員で確認しました。

4・5月の学校応援団の活動の様子



1年生 給食準備の補助



1年生 アサガオの種まきの補助



1・2年生 交通教室「歩行訓練」見守り



2年生 美蘭中央公園への校外学習の引率



毎週水曜日 草取りボランティア



毎週木曜日 読み聞かせボランティア



地域の皆さんが**学校応援団**です。
学校と地域で北浜小の子供たちを**笑顔**にします。
あなたの力をお貸しください。

【お問い合わせ・お申込み 学校ホームページ】

